

ばんけい

教育ほつとにゅーす  
かわら版こ みち  
教育の小径

No.119

2018 September

9月号

(一財)総合初等教育研究所参与  
前 国士舘大学教授

北 俊夫先生



## 今月のことば

## 元も子もない

「元」とは元金、「子」は利子のことです。失敗してすべてを無くし、何もかもすっかり無くしてしまったことをいいます。「元」を「本」と書く場合もあります。

## 教員の世代間ギャップの問題

- 世代間のギャップは、いずれの組織でも課題になっています。各世代のよさや得意分野を生かす場を日常的に設けることが問題解決の第一歩です。
- 学校においては、世代を越えて共に学び合う教師集団をつくることによって、世代間ギャップの問題を解決することができます。

## 世代間のギャップとは何か

いずれの組織や団体も多様な年齢層の人たちで構成されています。そのため、経験年数などによる技術の差や世代による考え方の違いがみられます。こうした状況は一つの組織体としてやむを得ないことです。学校をはじめ企業や行政機関など社会的な組織は、多様な文化をもった人たちが共存しているところに特質があると言えます。

そのために、構成員のあいだで、もの見方・考え方や行動の仕方の違いやズレが引き金になって、日々の職務や人間関係につながるトラブルが起こることは少なくありません。このことは、学校という組織においても例外ではありません。

現在、特に小学校では、地域による違いはありますが、20歳代から30歳前半の若い教師が急増しています。40歳代の教師は少なく、50歳代が多くなっています。そのために、世代による考え方や行動の仕方のギャップの問題が顕在化してきました。

年配の教師から「最近の若い教師は何を考えているのか理解できない。こんなことも知らないのか。分からないときには、聞きにくればよいのに。」といった厳しい声も聞かれます。一方、

若い教師からは「年配の先生は自分の考えを押しつけるので、聞きに行きづらい。若い人の考えを理解しようとしな。」と不信感をあらわにします。

育ってきた社会状況など環境はそれぞれ違いますから、世代間で考えや考え方に違いがあるのはむしろ当然のことです。重要なことはこのことを事実として受けとめ、違いを生かしつつ楽しい職場をつくる努力をすることです。

## 学び合う教師集団をつくる

学校は長いあいだ「鍋蓋社会」と言われてきました。鍋の蓋には、出っ張った取っ手が付いています。取っ手に当たる管理職を除けば、教師はすべてほぼ同じといった、学校独自の職階層を言い表したものです。そのため、教員のあいだでの上下関係の意識が薄く、同等意識が強くみられました。このことは、共に学び合うという同僚性を高めることに結びついていました。

近年新しい職階ができ、企業や行政機関のように「タテ」の社会に変化してきました。このことが教師間のギャップ意識を生み出している要因になっているとすれば、互いに学び合う人間関係を再構築する必要があります。

人間は誰にでも、よさや取り柄や得意分野があります。苦手としているこ

ともあるでしょう。得意分野を生かせる場面があるとやりがいを感じます。

若い教師は情報機器の活用に長けています。変化にも柔軟に対応します。体力もありますから、子どもと一緒に遊ぶことを躊躇しません。年配の教師のなかには最近の情報機器に苦手意識をもっている人もいます。しかし、長年の経験から、子どもの扱い方や指導方法について優れた技術をもっています。それぞれの得意分野を教え合い学び合うことによってそれぞれが指導力を高め、結果として人間関係がより豊かなものになっていきます。

各学校では、学び合う場として校内研修が実施されています。計画されたフォーマルな場を有効に活用することはもちろん大切です。さらに重要なことは、休み時間や放課後などインフォーマルな場を活用することです。学び合いのポイントは「～について知りたい」「～のことを学びたい」という意欲的な意思にもとづいて相互にコミュニケーションを取り合うことです。

子どもや授業のことが日常的に話題になる職員室になると、世代間のギャップが取り除かれ、学び合う教師集団がつくられていきます。地位などを利用したパワーハラスメントにならないよう十分な配慮が必要であることは言うまでもありません。

今月の  
記念日

敬老の日

(9月の第3日曜日)

多年にわたって社会に尽くしてきた老人を敬愛し、長寿を祝うことを趣旨にしています。従来の9月15日は老人福祉法により、「老人の日」と制定されました。

# とんぼ どうする!

## 宿題をやってこなかったとき

家庭での学習習慣をつけるために、毎日宿題を出しています。ところが、きちんとやってくるM子がやってきませんでした。どのように指導したらよいでしょうか。

宿題を出すことにはさまざまな考え方がありますが、現在、家庭での学習習慣を確立させることが課題になっており、宿題を出すことの意義は大きいと考えます。ただ、家庭の事情や子どもの能力などには十分配慮する必要があります。

いつもはきちんとやってくるM子さんがやってこなかったことに対して、まず「なぜやってこなかったのか」を確認します。うっかりして忘れてしまったのか。何かの事情でやることができなかったのか。故意にやらなかったのかなど、やってこなかった原因によって指導の仕方が変わるからです。

本人に直接責任の無い何らかの事情があったときには、受け入れてやりませう。そして、後日宿題に取り組むように促すことも考えられます。忘れていたときには、なぜ忘れたのかを考えさせ、今後忘れないようにするための手だてを考えさせます。また故意にやってこなかった場合には、その理由を聞き、今後改めるように指導します。

いずれにおいても、M子さんと個別に面談し、保護者との連絡や報告を欠かさないようにします。



## 教育の動向

### 学校の受動喫煙防止対策

文部科学省は、平成29年度の学校における受動喫煙防止対策状況の調査結果を公表しています。

それによると、小学校では、ほぼ100%の学校で何らかの受動喫煙防止対策を講じていることが明らかになりました。細かくみると、学校敷地内を全面禁煙にしている小学校が93.5%、建物内の全面禁煙が5.6%、建物内に喫煙場所を設置して分煙措置を講じている小学校はわずか0.9%でした。

都道府県別に敷地内での全面禁煙の状況をみると、公立学校において100%実現しているのは、青森、岩手、山形、

栃木、石川、福井、山梨、静岡、兵庫、奈良、和歌山、山口、徳島、香川、愛媛、鹿児島のみでした。ちなみに、実施率の低い県は、長野県が40.1%、長崎県が51.5%でした。これらの県でも建物内では全面禁煙措置がとられています。

これらの結果は、健康志向と生活環境の改善とともに、受動喫煙防止に対する理解と関心が高まってきた結果であると受けとめることができます。

平成30年7月には、国会で健康増進法が一部改正されました。ここには、大学を含めすべての学校で建物内を全面禁煙にすることなどが定められています。

今後は、小学校段階から子どもたちに対する喫煙防止教育をさらに充実させることが課題になります。

## シリーズ 新学習指導要領のキャリア教育解説 その11

### 子どもの発達支援

新しい総則は「児童の発達の支援」という見出しを立て、子どもの発達を支える指導の充実を求めています。従来、「配慮事項」として示されてきた子どもの成長や発達に直接関わる教師の支援が、次の4項目に再整理されて示されました。

まず、学習や生活の基盤となる学級経営を充実させることです。これは信頼関係や人間関係を構築するうえで重要な教師の役割です。また、集団の場面で行うガイダンスと、個別に行われるカウンセリングの双方を取り入れることによって、子どもの発達をきめ細かく支援することを求めています。

次に、一人一人が自己実現を図ることができるよう、児童理解を深め、生徒指導を充実させることです。ここで

は、学習指導と関連付けながら充実させることがポイントになります。

また、特別活動を要としてつ、各教科等の特質に応じてキャリア教育の充実を図ることです。そのためには、社会的・職業的な自立に向けて、その基盤となる資質・能力を身につける指導を充実させます。将来を見据えて、これまで実施してきたキャリア教育の目標や内容を見直す必要もあります。

さらに、基礎的・基本的な知識や技能を習得させるなど、学習内容を確実に身につけさせるために、個に応じた指導を充実させることです。例えば、これまでも実施してきた繰り返し学習や習熟度別学習、興味・関心に応じた課題学習、補充的な学習や発展的な学習などさらに工夫改善します。チームティーチングを取り入れるなど、指導体制を確保することも重要です。

## INFORMATION

### 好評発売中!



1~6年

### 特別活動のテキストに キャリア教育のポートフォリオに

「楽しい学校生活」は今年度より実施の新学習指導要領に準拠しています。

- 新設された学級活動(3)キャリア教育に対応。
- 児童の自発的、自治的な活動をサポート。
- 学級活動や、学校行事を継続して記録。評価に活用できます。

## 編集後記

東京オリンピックのボランティアが募集されています。大会ボランティアの募集人数は8万人!すごい人数です。海外から来日される方も増えるので、心一つにして「おもてなし」したいですね。(K記)



企画・編集：ぶんけい教育研究所  
発行：株式会社文溪堂  
発行日：2018年9月1日